

水辺活動

プログラム名	湖岸清掃 ※団体主導			
概要	浜名湖に漂着したごみや流木を清掃することで、自然を大切にする心を育む。			
ねらい	浜名湖をきれいにすることを通して、奉仕の精神や、モノを大切にする心を養い、浜名湖に対する関心をもつことができる。湖岸の漂流物などから、環境問題について考えるきっかけができる。			
条件	対象	全年齢	人数（指導者人数）	～200人（3人以上）
	活動目安時間	60分程度	活動時期	4月～10月
	活動場所	東、西湖岸、マリーナ広場	費用	不要
	下見	不要	活動名簿提出	要
持ち物・準備	（個人）軍手、帽子、濡れてもよい靴（サンダル・クロックスタイプは不可） （団体）必要に応じて研修生・指導者の飲料 （貸出）ごみ袋※ごみは青年の家で回収			
安全上の留意点 （対策方法）	熱中症・脱水症状（適度な水分補給と休憩、帽子の着用の徹底） 転倒、石場でのケガ（注意喚起、軍手・古靴着用の徹底） 自然災害（気象状況の把握、落雷等の恐れがあるときは速やかに艇庫へ避難） 有毒生物、カニ、貝殻や漂流物によるケガ（事前の注意喚起、危険な生物を見つけたら指導者に報告）			
活動内容（手順）				
事前①指導者配置の決定：研修生への説明、巡視指導、研修生の補助、本部 ②グループ編成：実施に適したグループ編成をし、活動名簿を提出（活動名簿はHPからダウンロード可） ③実施方法の決定：活動内容や時間・休憩時間の設定 ④研修生への事前指導：活動の「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導 ⑤研修生の服装の確認※清掃場所では、貝殻等で怪我をする可能性があるため必ず靴を履いて活動				
活動前①打合せ（活動10分前）：事務室前で所員と引率責任者・担当指導者にて実施 実施判断：気象を基に、協議の上、決定 確認事項：人数、グループ数、体調、活動範囲、活動時間、貸出備品				
活動①指導：指導者より活動範囲等の説明 ②活動開始：ごみ袋を持って清掃場所へ移動（指導者は活動を行わず、研修生の活動状況を把握） ③片付け：ごみ袋を回収し、東西ごみ・流木置き場の近いほうに置く（裏面画像参照） ④まとめ ⑤振り返り：活動の感想を発表 ⑥確認事項：人数、体調 ⑦報告：所員へ終了・研修生の体調を報告、				

<その他>

※ごみは、《可燃ごみ》《不燃ごみ》《ペットボトル・缶》に分別して回収

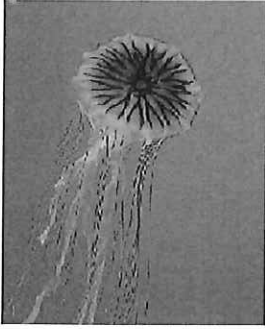
・毒のある生き物として、主に、赤クラゲ・オコゼ・アカエイが挙げられる。（裏面画像参照）

◆赤クラゲに刺されたときは…海水で患部を洗う→ゴム手袋をつけ、ピンセットで赤クラゲの触手を取り除く→医療機関へ

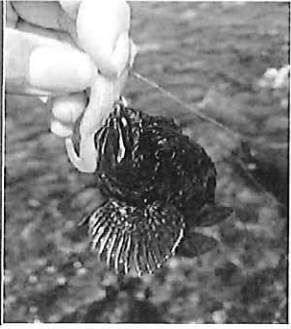
◆オコゼに刺されたときは…棘を抜く→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

◆アカエイに刺されたときは…患部を洗う→毒針を抜き毒を絞り出す→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

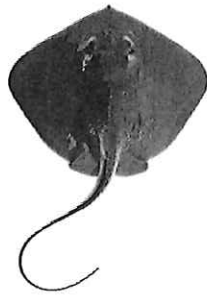
（裏面へ）



赤クラゲ

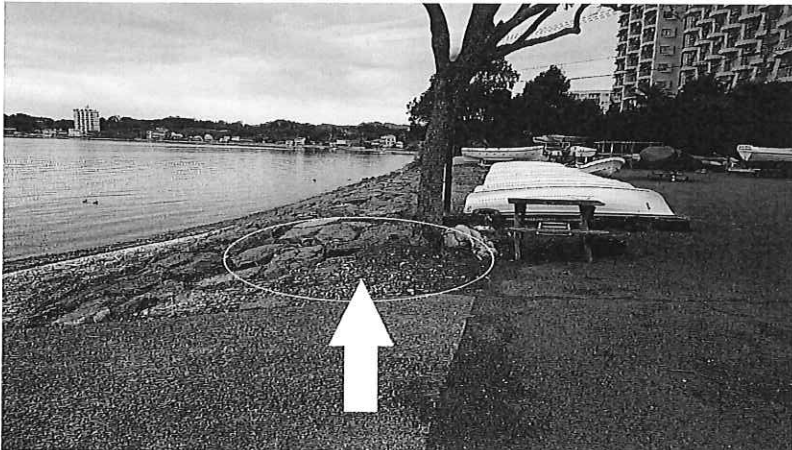


オコゼ

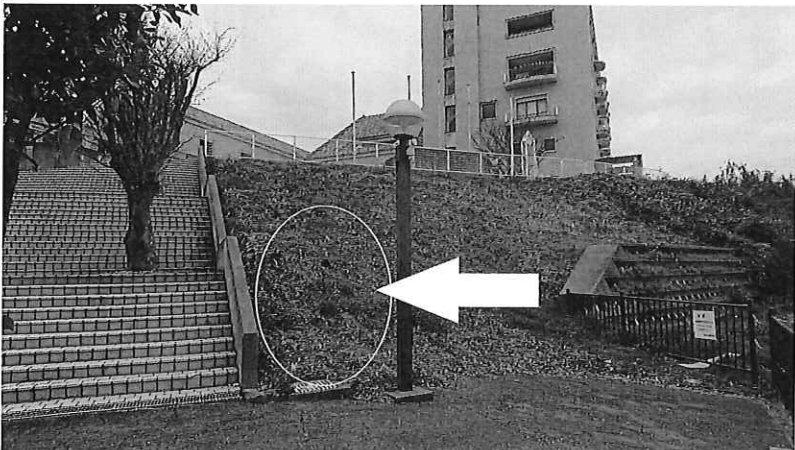


アカエイ

毒のある生き物



西側ゴミ・流木置き場（西湖岸手前）



東側ゴミ・流木置き場（東湖岸手前）